

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券については、個別法による原価法を採用している。

ただし、取得価額と債券金額との差額(差額が僅少な場合を除く)が金利の調整である債券については、償却原価法に基づき算出した価額をもって評価額とする。

(2) 固定資産の減価償却の方法

旧定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する金額を計上している。

退職給付引当金

職員の期末退職給付の期末要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
預 金	126,220,000	26,450,000		152,670,000
投資有価証券	1,923,780,000		31,450,000	1,892,330,000
小 計	2,050,000,000	26,450,000	31,450,000	2,045,000,000
特定資産				
助成事業資金	645,331,599		115,000,000	530,331,599
預 金	144,049,599	86,112,000		230,161,599
投資有価証券	501,282,000		201,112,000	300,170,000

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	2,620,000	220,000	2,400,000	440,000
預 金	2,620,000	220,000	0	440,000
小 計	647,951,599	220,000	117,400,000	530,771,599
合 計	2,697,951,599	26,670,000	148,850,000	2,575,771,599

※法人会計基本財産を500万円取り崩し、流動資産に繰り入れた。

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
預 金	152,670,000	(0)	(152,670,000)	—
投資有価証券	1,892,330,000	(0)	(1,892,330,000)	—
小 計	2,045,000,000	(0)	(2,045,000,000)	—
特定資産				
助成事業資金	530,331,599	(530,331,599)	(0)	—
預 金	230,161,599	(230,161,599)	(0)	—
投資有価証券	300,170,000	(300,170,000)	(0)	—
退職給付引当資産	440,000	—	(0)	(440,000)
預 金	440,000	—	(0)	(440,000)
小 計	530,771,599	(530,331,599)	(0)	(440,000)
合 計	2,575,771,599	(530,331,599)	(2,045,000,000)	(440,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	160,000	144,000	16,000

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
基本財産			
1. 公共債			
① 第194回日本高速道路機構債(20年債) <R39.12償還>	300,000,000	310,860,000	10,860,000
2. 社 債			
① 第18回大阪瓦斯社債(20年債) <R04.12償還>	100,330,000	103,610,000	3,280,000
② 第29回ANAホールディングス社債(10年) <R06.03償還>	102,000,000	101,710,000	△ 290,000
③ 第15回三菱UFJFG劣後債(10年債) <R10.01償還>	120,000,000	117,924,000	△ 2,076,000
④ 第14回三井住友FG劣後債(10年債) <R10.03償還>	100,000,000	98,590,000	△ 1,410,000
⑤ 第15回みずほFG劣後債(10年債) <R10.06償還>	100,000,000	97,390,000	△ 2,610,000
⑥ 第112回近鉄グループホールディングス社債(10年債) <R11.07償還>	100,000,000	98,770,000	△ 1,230,000
⑦ 第21回三菱UFJFG劣後債(10年債) <R12.01償還>	100,000,000	99,200,000	△ 800,000
⑧ 第32回東京電力パワーグリッド社債(10年) <R16.10償還>	100,000,000	99,512,900	△ 487,100
⑨ 第20回みずほFG劣後債(10年債) <R11.10償還>	100,000,000	98,850,000	△ 1,150,000
⑩ 第503回東北電力社債(3年債) <R03.06償還>	100,000,000	99,990,000	△ 10,000
⑪ 第100回近鉄グループホールディングス社債(7年債) <R06.07償還>	100,000,000	100,180,000	180,000
⑫ 第3回コンコルディアFG劣後債(10年) <R11.03償還>	200,000,000	198,660,000	△ 1,340,000
⑬ 第5回日本航空社債(5年債) <R06.03償還>	100,000,000	98,480,000	△ 1,520,000
⑭ 第4回コンコルディアFG劣後債(10年) <R11.03償還>	100,000,000	99,310,000	△ 690,000
⑮ 第12回三井住友トラストHG劣後債(10年債) <R31.03償還>	70,000,000	69,440,000	△ 560,000
小 計	1,892,330,000	1,892,476,900	146,900
特定資産			
1. 社 債			
① 第479回関西電力債(10年債) <R02.04償還>	100,170,000	100,080,000	△ 90,000
② 第297回四国電力債(2.7年債) <R02.12償還>	100,000,000	100,010,000	10,000
③ 第109回近鉄グループホールディングス社債(5年債) <R05.7償還>	100,000,000	99,381,700	△ 618,300
小 計	300,170,000	299,471,700	△ 698,300
合 計	2,192,500,000	2,191,948,600	△ 551,400

(注)時価については、各債券の取扱金融機関から入手した、令和2年3月末現在の時価情報に基づいている。

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 訳	金 額
経常収益への振替額	
助成事業資金取崩額	115,000,000
合 計	115,000,000

7. 引当金の増減額及びその残高

引当金の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
			目的使用	
退職給付引当金	2,620,000	220,000	2,400,000	440,000
賞与引当金	1,546,000	1,739,250	1,546,000	1,739,250